

発達障害の理解と対応

社会福祉法人沖縄肢体不自由児協会
沖縄中部療育医療センター

(県委託事業：沖縄県発達障害者支援センター がじゅま〜る)

天久 親紀 (主任/臨床心理士・公認心理師)



1. 発達障害について

*** 本日の流れ ***

1. 発達障がいについて
2. 発達障がいの特性に合わせた支援のポイント
3. 情報提供

園や教室で見られる気になる行動

- ・じっとしていない
- ・指示に従わず、勝手なことをする
- ・会話ができない
- ・突然泣き叫ぶ
- ・思うようにならないとかんしゃくをおこす
- ・他の子どもにちょっかいを出したり喧嘩をする
- ・給食を食べない
- ・手先が不器用である
- ・集団活動中、別のことをしていたり考えている
- ・教室に入れない、登園したがない



※ 参照 「発達障害支援に関わる専門家のための研修テキスト・ガイドブック」 NPO法人 A0ZORA福井

➡ 背景に発達の偏りが隠れている可能性も…

決して、特別な人達ではありません

- 自閉症スペクトラム障害：2～3%（50人に1人）
- 注意欠如・多動性障害：3～5%
- 学習障害：1～3% … **合わせると10%以上**

- 通常学級において何らかの支援を要する児童生徒 … **6.5%** ※ 小学1年生では **9.8%**

出典：通常学級における、特別な教育的配慮を必要とする児童（文部科学省，2012）

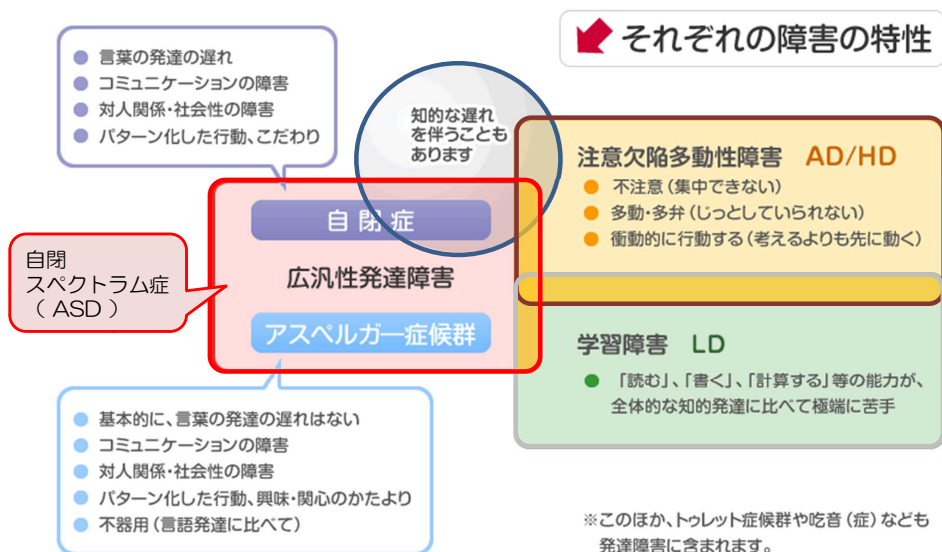
- 乳幼児健診における要フォロー率※
※ 発達に気になるなど、健診後に支援が必要と判断された児の割合

…1.6歳児健診：**20.3%** 3歳児健診：**15.4%**

出典：市町村発達障害児（者）支援体制整備状況に関する実態調査
（沖縄県発達障害者支援センター，2015）

発達障害の種類

（出典：厚生労働省「発達障害の理解のために」）



発達障がいとは？

<発達障がいの定義>

「発達障害者とは、発達障害（自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害）などの脳機能の障害で、通常低年齢で発現する障害）がある者であって、発達障害及び【社会的障壁により】日常生活または社会生活に制限をうけるもの」

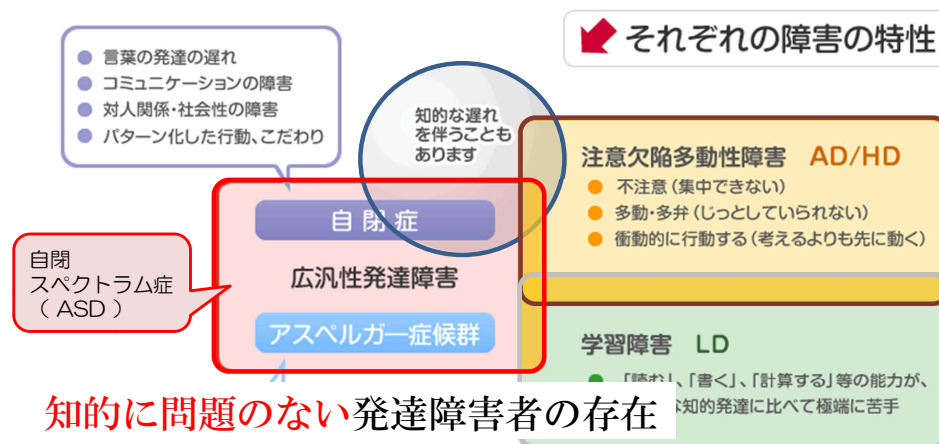
基本的な考え方

1. **生まれつき**持っている特徴で、その根本的な特性は終生残り続ける。
2. 障害の特性自体は、**養育環境**といった**社会環境の問題**や、**本人の努力不足**で起きるものではない。
3. **障害特性そのものは治せない**が、本人の特性や起きている問題の背景を理解し、**環境調整**や**対応の改善**等を**図る**事で、**困り感を減らす**よう工夫はできる。

発達障がい＝発達凸凹+**適応の問題**

発達障害の種類

（出典：厚生労働省「発達障害の理解のために」）



知的に問題のない発達障害者の存在

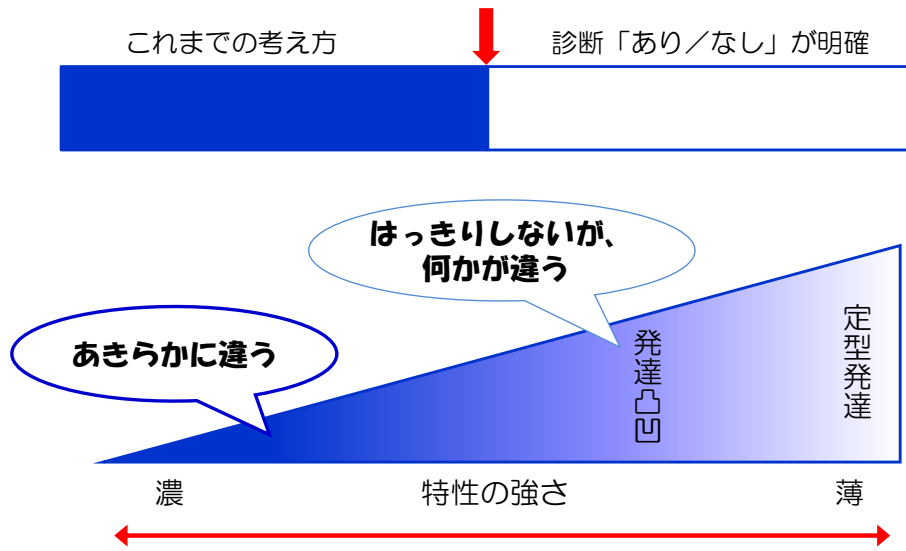
「**重なりあう**」ことがある

診断名にのみ囚われず、その人の**得意なところ**、**苦手なところ**、**苦手だけど配慮があればできること**を捉えることが大切

スペクトラム(連続体)という考え方

これまでの考え方

診断「あり/なし」が明確



診断はなくても、発達障がいの特性を有していれば発達障がい者への支援方法は有効です！



発達障がいの疑似体験

～ 曖昧な言葉の理解が困難な方～

①『 』の絵を描いてみましょう

②『 』の絵を描いてみましょう

自閉スペクトラム症 (ASD)

1) 社会的コミュニケーションの障害

- 他者の意図や場の空気などを直観的に読み取ることが難しい。そのため、文字通りの意味に沿ったやりとりは可能だが、暗黙の了解や比喩、皮肉や冗談、曖昧な言葉などの理解が難しいことがある

< こんな苦手さを持つことも >

- 1人で遊ぶことが好きだったり、他者との関わりが少ない
- お知らせ(集団指示)が聞けずに切り替えができない
- 他の人の話を遮ってしまう、一方的に話をする
- 自分の思いをことばで表現するのが苦手、誤解されやすい
- 表情や視線、身振りなどを通じたやり取りが苦手。
- 気を遣う割には浮いてしまう

< こんな長所をもつ人が多いです！ >

- 理解したルールをきちんと守ろうとする
- 自分の思いをつらぬける強さがある
- 常識にとられないユニークな発想の持ち主



自閉スペクトラム症 (ASD)

2) 限局的で反復的な行動や興味と感覚の偏り

- こだわり行動や一定の事柄に関する固執、興味関心の偏りや偏極的知識
- ※ 感覚過敏・鈍麻が見られることもある



< こんな苦手さを持つことも… >

- 新しい遊びをせずに同じ遊びや活動、話を何度も繰り返す。
- 譲れない「こだわり」のために苦労することがある(融通がきかない)
- 急な予定変更があるとパニックになる(臨機応変が苦手)
- 初めての場面や初対面の人が苦手
- 決まったものしか食べない(偏食)

< こんな長所をもつ人が多いです！ >

- 好きなことや納得したことをやり遂げる力が高い
- 見通しが立っていると安心して実力を出しやすい
- 自分の関心のあるものへの熱心さや几帳面さは人一倍
- 興味関心が「広く浅く」より「狭く深く」なるタイプ (〇〇博士)

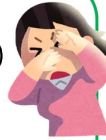


『 感覚の偏り 』（感覚の過敏さ／鈍感さ）

※ これらは例ですから、ひとりの人に全部が当てはまるわけではありません。

【 視覚過敏・鈍麻 】

- ・人が多い場所を嫌がる（人が多いと目が回る、人酔いする）
- ・絵本など蛍光灯や太陽光反射して見えにくい
- ・特定の模様を見ると、目が回ったり気分が悪くなる など



【 聴覚過敏・鈍麻 】

- ・お集まりや行事などザワザワした状況が苦手
- ・特定の音（赤ん坊の泣き声など）をととても嫌がる
- ・大声が苦手だったり、ちょっとした物音にびっくりする
- ・周りの音と目の前の人の声とが聞き分けられない
- ・何度も強くドアを閉めるなどわざと大きな音を出すなど など



【 触覚過敏・鈍麻 】

- ・触れられるのを嫌がる。突然触れられるとパニックを起こす
- ・電車などで、横並びに座れない
- ・決まった服しか着られない。特定の手触り・肌触りの物を嫌う
- ・特定の食べ物の舌触りが苦手 など

13

『 感覚の偏り 』（感覚の過敏さ／鈍感さ）

※ これらは例ですから、ひとりの人に全部が当てはまるわけではありません。

【 嗅覚過敏／味覚過敏 】

- ・特定の匂いを嫌がる
- ・特定の食べ物を嫌がる
- ・特定のメーカーの食べ物しか食べない
- ・柔軟剤などの匂いで気分が悪くなる
- ・教室など、食事や作業もすべて同じスペースで行うような場所では、絵の具や鉛筆、食事の匂いが混ざってしまって気分が悪くなる など



【 痛覚過敏・鈍麻 】

- ・ちょっとした怪我でも、大騒ぎして痛がる
- ・体の中のちょっとした痛みで、腹痛などが通常より強く感じられる
- ・怪我をしたり発熱しても感じづらく平気そうな顔をしている
- ・高い所から飛び降りることを楽しむ など

15

聴覚の過敏さを体験してみましょう



通常の聞こえ方



過敏性のある
聞こえ方の例

注意欠如・多動症（AD/HD）

1) 不注意

- ・うっかりミスや計算間違いが多い
- ・忘れ物やなくしものが多い
- ・何かに熱中すると、他のことが目に入らない
- ・話しかけられても気づかない
- ・気が散りやすい（特に興味のないことや根気のいること）

2) 多動性 3) 衝動性

- ・落ち着きがない、多弁
- ・思いついたらすぐに行動に移してしまう
- ・興奮しやすい
- ・座ってはいても体のどこかが動いている

< こんな長所をもつ人が多いです！ >

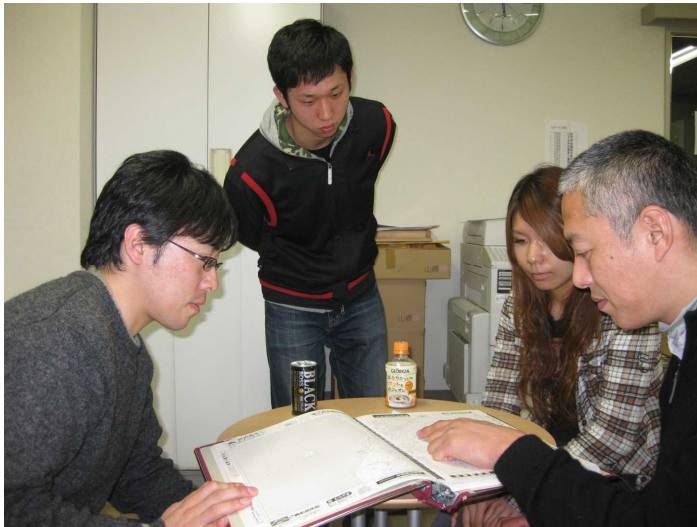
- ・好奇心が旺盛で、新しいことに意欲的
- ・立ち直りが早く、切り替え上手
- ・想像力豊かでユニークな発想の持ち主
- ・ムードメイカー。場を盛り上げたり、雰囲気づくりに一役買ったりすることが得意
- ・人懐こく、情に篤い

16



発達障害の疑似体験

『 不思議な見え方 』



こんなことで困っている

休林
うまく字が書け
なかつたり、書
き間違える

妨水?

昔々、あると
さんとはおはあ
き。おはあまき
んは山へしは
かりに!

文字が重なっ
て見え、うま
く読めない

は ? 形の似た字を間
違って読んでし
まう

ほ

248
+ 53

2578

数字のケタが
分からなくな
る

限局性学習症／学習障害(LD)の特徴

1) 全般的な知的発達に遅れはない (知能指数は普通域)

2) 字を読むこと (読字障がい)

字を書くこと (書字障がい)

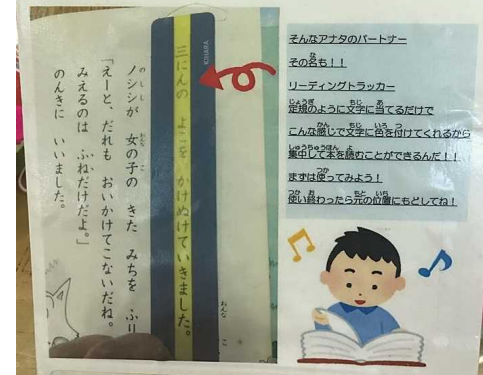
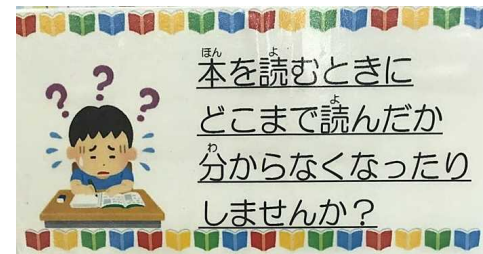
計算すること (計算障がい)



⇒ **どれか (いくつか) が極端に苦手**で、特定の能力を
学んだり、行ったりすることに著しい困難を示す

※ 知的な遅れがある場合や養育環境 (児童虐待, 外国での生活 等)、
怠慢が要因となる場合は除く

県立図書館でもこんな工夫が♪



リーディングトラッカー

子どもコーナーだけでなく、成人用にもちゃんと
用意されています。

他にも…

◆ 小児期発症流暢症（吃音）

音の繰り返し、引き伸ばし、ことばを出せずに間があいてしまうなど、話し言葉が滑らかに出不い一般に「どもる」と言われる話し方の障害

- 音の繰り返し（連発） → 例：「か、か、からす」
- 引き伸ばし（伸発） → 例：「かーーらす」
- ことばを出せずに間があいてしまう（難発、ブロック）
→ 例：「……からす」

21

他にも…

◆ チック症（トゥレット症候群）

多種類の運動チックと1つ以上の音声チックが1年以上にわたり続く重症なチック障害。通常は幼児・児童・思春期に発症。多くの場合は成人するまでに軽快する方向に向かう。

※ 以下のような、運動や発声を行いたいと思っているわけではないのに行ってしまうということがチックの特徴

● 運動チックとは

突然に起こる素早い運動の繰り返し。目をパチパチさせる、顔をクシャツとしかめる、首を振る、肩をすくめるなどが比較的良好に見られ、時には全身をビクンとさせたり飛び跳ねたりすることもある。

● 音声チックとは

コンコン咳をする、咳払い、鼻鳴らしなどが比較的良好に見られ、時には奇声を発する、さらには不適切な言葉を口走る（汚言症：コプロラリア）こともある。

23

◆ 小児期発症流暢症（吃音）

幼児期の目標

気にせずに話しをすること

楽しくコミュニケーションすること

好ましい対応方法

- ・ 大人が会話をする時には長めに、イントネーションを保ちながらよりゆっくり話す
- ・ 正しい話し方の要求をせずに、大人が威圧的でない態度
- ・ 簡単な文で話し、複雑な回答を要する質問を控える
- ・ 言葉の先取りをしない。ゆっくりと話す聞く姿勢
- ・ 話すことだけでなく非言語的にも、コミュニケーションすることの楽しさと意義をはぐくむ

22

他にも…

◆ 場面緘黙症

特定の社会的な状況において話すことが一貫してできない状態が続く障害。家庭でも話さない場合は、全緘黙として場面緘黙とは区別する。

※ 吃音等が原因で話さない、話せない状況を除く → 吃音の併存率が50%、ASDとの併存率が30~40%という報告も。

参考：緘動（かんどう）

場面緘黙の子には、しばしば声だけでなく、身体も動かなくなる症状が見られる。動きがぎこちなくなる場合と、全身の力が抜けたような状態で、動き出すのに介助が必要な状態になる場合がある。

24

場面緘黙症について

• 場面緘黙症の特徴

- 特定の社会的な状況において話すことが一貫してできない状態が続く障害
- まったくしゃべらないわけではない
- 「おとなしい子ども」ではない
- 不安や恐怖を感じる扁桃体の過敏性との関連
- いじめやからかいによる緘黙の発症も
- 決して育て方が原因ではないが、**適切な介入で改善しうるため**、その子の個性として受け止めるだけでなく、積極的な対応が求められる

25

重要： 二次障がいについて

～ 発達障がい児の「育ち」の問題 ～

< 周囲の無理解 >

発達障がいは見た目には分からないため、叱責や非難を受けやすく、失敗体験を積み重ねやすい

< マイナス評価の蓄積 >

※ 失敗体験を忘れづらい

『自分』や『他人』に対して否定的な考え方になりやすい

< 精神面あるいは行動面での症状（二次障がい） >

情緒の不安定（うつ病等）、反抗的な行動、深刻な不適応の状態（不登校やひきこもり等）等を招くことがある。

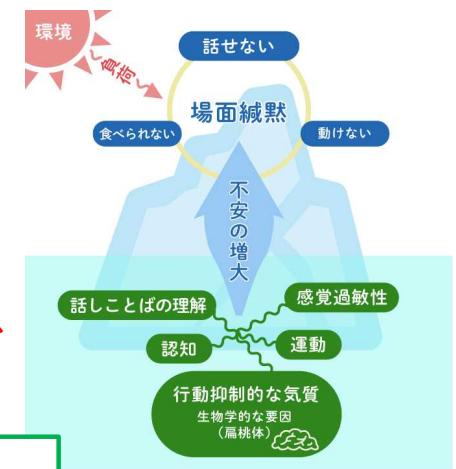
→ 発達障がいそのものよりも、二次障がいの問題が全面に出ているケースもある

二次障がいの予防と軽減のためにも、**早期からの理解と支援が重要**

場面緘黙症について

• 場面緘黙症の原因

- 複数の要因が絡んでいることが多い
 - 言語発達の偏り
 - 発達特性（過敏やこだわり 等）
 - 環境要因（いじめやからかい、急激な生活環境の変化 等）
 - **生物学的要因（危険を感じやすい、より大きな不安信号）**
 - その他



信号機で例えると…

黄色がなく、すぐ赤になる信号機が必要以上に道にたくさんある状態

場面緘黙が起こるメカニズム

引用：発達ナビ

26

重要

「困った子」ではなく「困っている子」

発達障がいの特性をもつ子ども達は、彼らが見せる独特な言動により…

⇒ 「困った子・問題児」と受け取られることが多い

実際は…

⇒ 自分ではどうすることも出来ない特性に対して叱責や非難を受け、どうしたらいいかわからず混乱している「困っている子」であるかもしれない

「自分のことを理解して欲しい！」とサポートを求めている姿



「困っている子」への支援の第一歩は
その困難さに気づいてあげること
(困難さの背景には必ず理由がある！)

ここで子どもの語りに
耳を傾けてみましょう



29

発達障害をもつ人への支援

発達障害 = 発達特性 + 適応の問題

- 発達特性（本人の状態）を理解し、
- 日常生活で困らないようにするための手立てを考える
- 発達特性は、本人のことをよく知るための大きなヒントとなる
 - ① 周囲にとって：ヒントをもとにした配慮・調整・関わりの工夫ができる
 - ② 本人にとって：自分についての理解・無理のない努力・援助／配慮の要請ができる

→ 自己理解が大切！

31

2. 発達障がいの特性に合わせた支援のポイント

「生きづらさ」を減らすための工夫

支援目標：発達凸凹を抱えながらも、本人を取り巻く環境において、適応的な生活が営める

本人の特徴を理解した上で配慮する

環境

自分の特徴を理解した上で工夫をする

本人

※ できることから！

摩擦を減らす

※ すぐに大きな変化は望めないかもしれない

本人の努力だけでなく、周囲の理解も必要！

32

発達障害をもつ子をサポートする時に大切にしたいこと

① 思いを受け止め広げる。

- 思いを受け止められることで、肯定的な他者観を持ち、人との関わりや、周りからの提案を受け入れる土台になる

本人なりに努力したり表現していることが、周りにとっては望ましくないと評価されることがあります。行為だけ取り上げられ周囲に叱られることが多いと、自分はだめだと落ち込み挑戦を避けるようになったり、周囲の人へ否定的になり関わりを避けるようになることも…

➡思いを受け止めた上で、「〇〇したかったんだね。その時は～ってするといいよ(でも、今は□□してほしいな。先生は△△って思ったよ)」など、**本人の思いを大切にし、どのようにしたらもっと自分や相手にとって良いのかを肯定的、具体的に伝えていくことが重要!**

33

発達障害をもつ人をサポートする時に大切にしたいこと

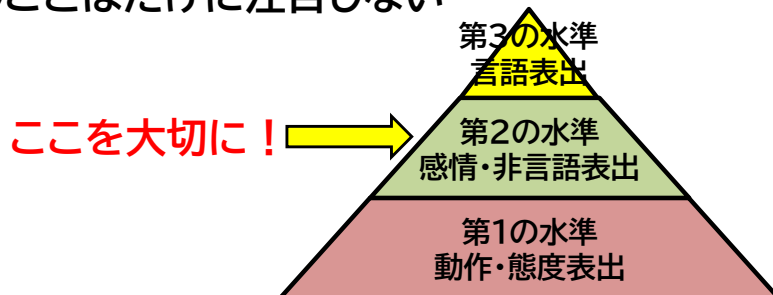
② スモールステップによる支援

- スモールステップとはちょっと頑張ればできそう、手の届きそうなことを目標にする方法
- ある高さの段の階段を例に、難なく上がれる人もいれば、その段の高さに圧倒されて登れない人もいる。でも、一段ずつ段を低くして上がれば登りやすくなる。
- そのように、課題を細かく分けて一つずつクリアできるように手助けするのがスモールステップ支援の考え方
スモールステップはさまざまな場面で有効
- **役割意識を育み、できる喜びや成功体験を重ねる機会を!**

34

支援の考え方

- 話しことばだけに注目しない



- 安心して参加し、表情や頷きが出せるように
- 表情が硬い子の場合
 - 体を動かす活動や、声を出す必要のない活動を積極的に取り入れる

35

発達障害をもつ人との関わりポイント

- 聞くよりも見る情報の方が理解しやすい

例えば…

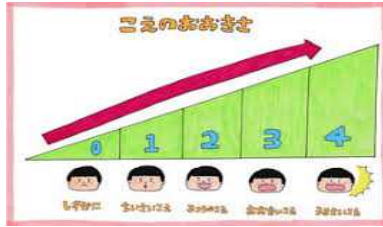
言葉による説明は少なめに、できるだけ文字やイラスト、写真、動画を使うと、理解しやすい

※予定の変更を示す場合↓

〇〇さんの予定 △月〇日(月曜日)	
1 時間目	体育(プール)
2 時間目	図工
3 時間目	図工
4 時間目	国語

36

対応のヒント

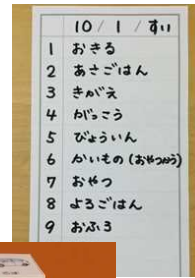


出典HP: 楽々かあさんのお裾分け



対応のヒント

(視覚支援)



タイムタイマー



参考: 特別支援教育班より借用資料

変更予告 見通し持てれば不安解消



※一斉説明でしっかり伝わらない場合には、個別に説明してあげると効果的です。

発達障害をもつ人との関わりのポイント

- 具体的な言葉かけを心掛ける
- 暗黙の了解や比喩的な表現、皮肉や冗談などの理解が難しい

例えば...

- 「大体」「適当に」「空気を読んで」といった曖昧で抽象的な言葉かけは避ける
- 指示をするときは、「何を」「いつまでに」「どうすべきか」「その理由」も伝える

発達障害をもつ人との 関わりのポイント

曖昧な言葉かけをしていませんか？
具体的な声掛けを練習してみましょう！

例えば…

「きちんと片付けて」 → 「オモチャを箱の中に入れて」
「あっちに置いて」 → 「白いテーブルの上に置いて」
「砂糖は適当に入れて」 → 「砂糖は大さじ1入れて」

練習してみましょう！

- ① 「ちゃんと挨拶しなさい」
→ 「『こんにちは』って言おうね」
- ② 「しっかり食べて」
→ 「お魚と3口食べてね」

対応のヒント

声かけ変換表 (指示・命令・禁止)

before	1.2.3.	after	memo
いい加減にしなさいッ！	→	あと何分で終われそう？	タイマー併用
ちょっと待って！	→	あと〇分（秒）だけ待ってね(^-^)	具体的数字など
うるさい！	→	声を「これくらい」にしてくれる？	実例
	→	声をボリューム2にしてくれる？	スケール、TVの音等
走るな！	→	歩こうね	やっていいこと
危ない！	→	止まって！	具体的に
危ないからダメ！	→	お母さん、ケガが心配だなあ	気持ちを伝える
	→	もしケガしたら、今日では出かけられないけど、それでも大丈夫？	結果の予測を伝える
早く支度しなさいッ！	→	5分で終われば、あと10分遊べるよ	メリットを伝える
早くおフロ出なさいッ！	→	夕飯はカラアゲだよ	興味のある情報
あー、もう、だから言ったでしょッ！？	→	どうすれば良かったんだっけ？	問いかけ

「〇〇さん、何してるの？先生さっき、
何て言った？…」



「靴を靴箱にしまってください」

- ・生徒と教師は同じイメージがあるわけではない、日頃から明確な言葉かけが必要
- ・視線を合わせ、指さしや具体物を提示しながら指示すると、なお、わかりやすい。

明確にされていない言葉(例)

「丁寧に書きなさい」、「何でちゃんといわないの」
「だいたい2時くらいまで、自由時間です。」
「適当に進めててください。」

発達障害をもつ人との 関わりのポイント

・要点をしばって伝える

重要・些細なことの区別／判断が難しい

例えば…

- ・ 要点をしばったり、優先順位をつけて伝える
- ・ 相手の理解しやすいペースに合わせて話をする

・見通しや手順を明確にする

物事を計画的に考えること（段取り）が苦手
（例：目先の損得だけで判断。場当たりの行動）

例えば…

- ・ スケジュールや手順等を具体的に伝える
- ・ 活動の目的や意義を明確に伝える

注意欠如・多動症（AD/HD）への支援

< AD/HDの基本特性 >

多動性、衝動性、不注意に関して、
「自分で上手くコントロールできない」

< 支援の方向性 >

- ☆環境調整（不要な感覚刺激を減らし、集中しやすい空間づくり）
動いてもいいことにする・ルールを確認し合う
忘れないように協力する（ときには予備を用意する）
できることを少しずつ（できる約束を一つずつ）
- ・時間的枠組みの工夫 ⇒ 「段取り」の明確化
タイムスケジュール、やるべきことリストをつくる
- ・物理的枠組みの工夫 ⇒ 「気づききっかけ」をつくる
目印、メモ、連絡ノートを活用

学習障害(LD)への関わりのポイント

1) 苦手な事を正しく把握する

普段の学習の様子を見て気になったら担任の先生に相談する

2) 自分に合った学びを身に付ける

本の読み聞かせでふりがなを多くふる等。
(なぜ読めないのか、書けないのか専門家に相談)

3) 苦手を補うツールをつかう

ICTの活用や電子機器を活用を使用していく

ADHDへの関わりのポイント

1) 注意を高めて集中持続させる環境をつくる

テレビを消したり、必要のないものを片付けたり、集中しやすい環境をつくるなど

2) 注意や興味を引き付けたり気づききっかけを増やす

「今は何をするとき？」と声をかけたりメモやスケジュール、アラームを使う。指示は具体的になど

3) 多動や衝動的な行動を感情的に叱らない

「ちかづいて」「おだやかに」「おちついた声で話しかける

4) ほめること、認める事が効果的

機会をみて「大切な存在だよ」と伝え続ける

場合によっては服用も（専門医へ相談）

参考：学習面における配慮例 ①

◆ 学習支援における配慮や工夫

配慮や工夫の例	効果
授業のはじめに本時の内容を黒板の端などに書く (例; 1. 実験、2. 班協議、3. 発表 など)	落ち着いて参加できる
大切な箇所は注目を促してから発問や指示をする	聞きもらしが減る
発問や指示、説明は短く簡潔にする 指示や課題を板書やメモに書く	わかりやすい 確認しやすい
ルビをふる、区切り線を入れる、単語を囲む 文字や記入欄を大きくする、間隔をあける	読みやすい 書きやすい
板書の工夫: 大切なポイント課題を必ず書く 色チョークを活用する、黒板を半分ずつ使う	ノートがとりやすい
予め「何分ぐらい」と時間の目安を示す 話のポイントを押さえるように話す	まとめて話すようになる

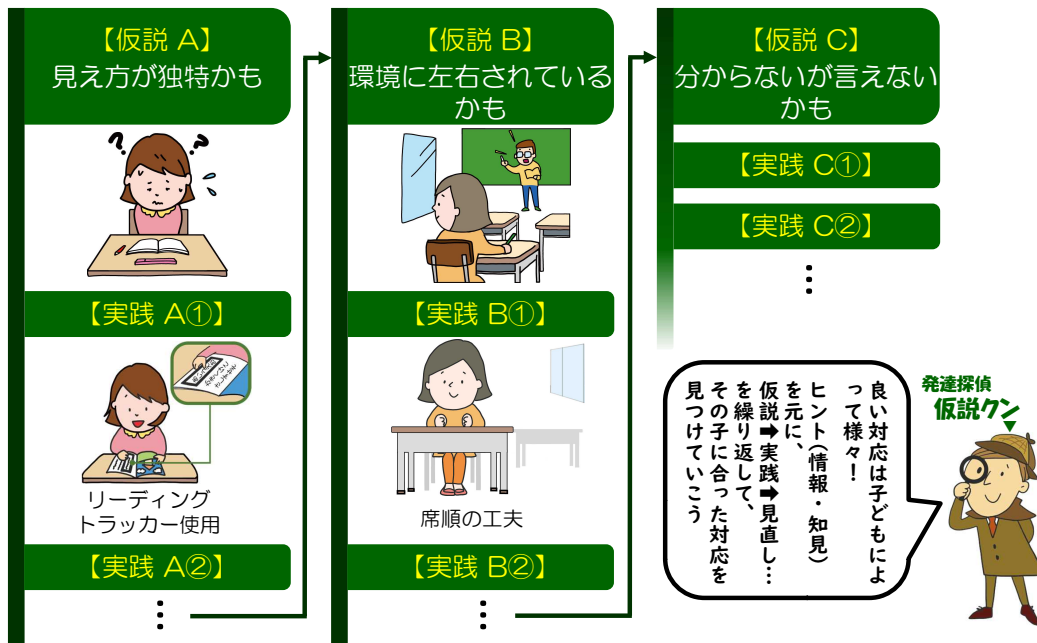
参考：学習面における配慮例 ②

◆ ワークシートや定期テスト等の配慮や工夫

配慮や工夫の例	効果
文字のポイントを大きく、ゴシック体などを使う	読みやすい
行間を広げ、できるだけシンプルにする	書きやすい
問題の近くに解答欄がある 解答欄を設問ごと太枠にする	書き間違いが減る
絵や図、写真等を活用する	イメージがわく

支援のキーワード「仮説・実践」

例：勉強に集中できない



発達探偵をやってみよう

小学校3年生Aくんが困っている場面

運動場の全校集会で列から離れてしまう

【仮説 A】

【仮説 B】

実践

実践

ヒント!

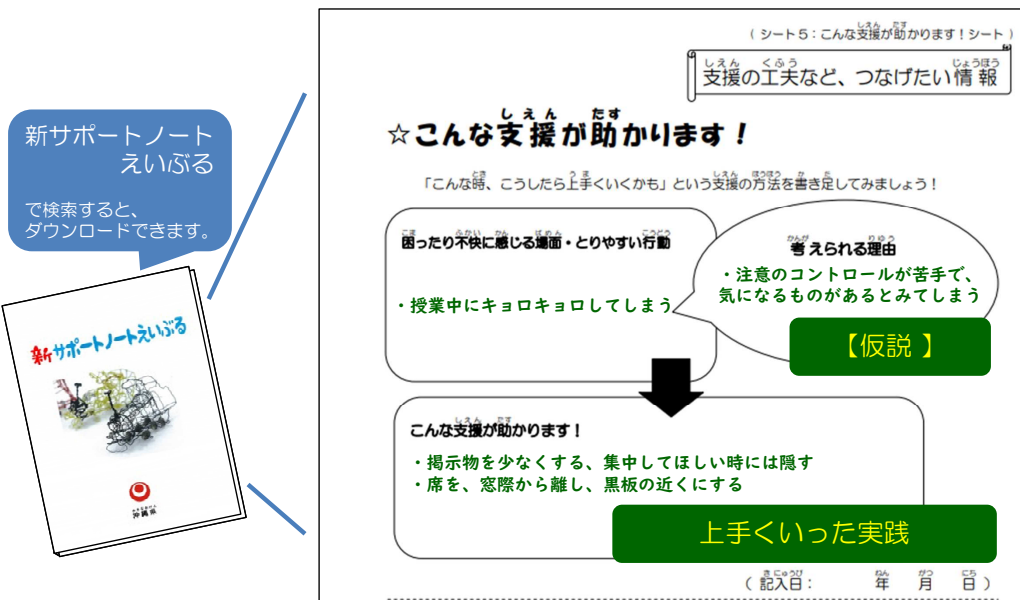
- ・学校でうまくいった例
- ・今日の研修で出てきた情報

などを元に考えてみましょう

決まった正解はありません！
まずは仮説と実践案をあげてみるのが大事です。



上手くいった仮説実践を形に残そう



3. 情報提供

新「サポートノートえいぶる」とは...

目的：

ご本人のプロフィールや支援の経過などの記録を一冊にまとめ、必要な情報をつづるオリジナルファイルです。各ライフステージにおいてスムーズな情報の引きつぎ・共有が図られることで、一貫したよりよいサポートが受けやすくなることを目的に作成されました。

対象：

主として、発達障害のある方もしくは発達の気になる方やそのご家族を対象としています。お子さんの成長や子育てなどに不安のある保護者の方にも、お使いいただけます。



一貫した相談支援体制の整備に向けた取り組みが必要

→ 発達障がい・発達が気になる方を対象に

新「サポートノート えいぶる」を作成

(作成：沖縄県障害者自立支援協議会「療育・教育部会」
支援ファイルワーキング)

教育

福祉

保健
医療

労働



発達経過・生活の様子、支援の方法、相談支援の履歴

新「サポートノートえいぶる」の構成

1. プロフィール
2. 所属歴（保育・学校等）
3. 現在の様子シート
4. 日常生活動作 詳細シート
5. こんな支援が助かります！シート
6. まんなかマップ
7. 緊急時サポートシート
8. 記録のページ
9. その他資料つづり
10. 相談窓口・情報のシート
11. 市町村問合せ窓口一覧
12. おわりに

これまでの経過や生活の様子を書き込んで、みんなで共有できるんだね
ガオー！



新「サポートノートえいぶる」のダウンロードは・・・

沖縄県 障害福祉課 えいぶる



で検索!

えいぶるの各シートは、沖縄県 子ども生活福祉部 障害福祉課ホームページからダウンロードして入手できます。「スペースが狭くて記入しづらい、アレンジしたい」という方には、Word版のファイル様式も掲載されていますので、是非ご活用ください!



※もっと詳しいことを知りたい方は・・・ ↓

発達障害情報・支援センター <http://www.rehab.go.jp/ddis/>

皆さんに情報発信します! (普及・啓発等)

< 当センターで作成した社会資源リスト等 >

【当センターHP上にて掲載】

- ☆ 啓発小冊子「発達障害ってな～に？」
- ☆ 「発達障がい児者支援に関わる相談・支援機関リスト」
- ☆ 「発達障がい児(者)の診療等を行っている医療機関リスト」
- ☆ 「発達障がいに関わる親の会・成人当事者団体等リスト」
- ☆ 「センター主催研修 DVD 貸出リスト」(支援機関等向け)



ご清聴 ありがとうございます
今後とも宜しくお願いします!



ホームページも
のぞいてみてくださいね!

沖縄県発達障がい者支援センターがじゅま～る

沖縄市比屋根5-2-17 (沖縄中部療育医療センター内)

TEL : 098-982-2113

E-MAIL : gajyumar@shoni.or.jp

URL : <http://www.shoni.or.jp>

